

新幹線プレス



2024年3月22日

No.660

発行者 伊藤 一也

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

一体いくらなんだ？ 私たちの賃上げ額 なぜ？各社の報道で食い違う賃上げ額



“過去最高額のペア”実施を発表 定期昇給を含めた賃上げ額はモデルケースで月額**1万5900円**（東海テレビ）

ベースアップに相当する賃上げ額を月**1万1100円**（35歳社員の標準的なケース）とすると回答した。

ペア相当額は7000円の基本給引き上げと、手当の一部引き上げ（4100円分の賃上げに相当）を合わせたもの（日本経済新聞）

定期昇給を含めた賃上げ額は、35歳モデルで月額**1万2000円**で、賃上げ率は**3.7%**（TBS NEWS DIG）

基本給を引き上げるベースアップとして、35歳の社員のモデルケースで月額**1万1100円**の賃上げを実施すると明らかにしました。JR東海は「コロナ禍からの業績回復の状況や、物価動向を考慮して支給水準をきめた」とコメントしました（FNN系列）

JR東海は、ベースアップを過去最高の月**1万1100円**と回答した（時事通信）

JR東海はペア**7000円**、賃上げ率は**4.8%**（読売新聞）

皆さん、2年連続で騙されてはいけません！ B級地ではない新幹線職場の賃上げは「7000円」です！！

なぜ各社同じ内容にならないのでしょうか？

それは昨年に続き会社が賃上げ額をごまかしてプレス発表しているからです。

- (1) 定期昇給完全実施（4800円）
- (2) 基本給を7000円引き上げる
- (3) 調整手当の一部を引き上げる（4100円相当）

それをあたかも昨年同様、全社員への賃上げであるかのように発表しました。今後ユニオンは、昇給は格差配分で例年通りに妥結し、会社の言いなりになるのは目に見えます。もう社員と世間を騙すことは許されません。JR東海労は回答の席上で再申し入れを行いました。

皆さん、本当にこれで良いと思いますか？！

本当に社員を想っているのはどの組合なのでしょう？